

春への変化 《宮ヶ瀬ビジターセンター》

淡い緑の葉、桜やスミレなど春の花々、オオルリやキビタキなどのさえずり、虫たちの目覚め、様々な生き物が私たちに季節が進んだことを感じさせてくれる春。

宮ヶ瀬周辺でも見かけるニホンジカにも春の変化が訪れます。灰色がかった冬の毛から明るい茶色と白い斑点の夏毛への変化、そして雄の角に訪れる変化です。秋に見かける立派な角は、毎年毎年新しくなります。ちょうど、春はその角が落ちる時期なのです。

では、いつごろ抜け落ちるのか…4月～5月の角を見てみましょう！

- 4月 4日 立派だけれど一本しか角のない雌シカ。片方は途中で折れています。この冬に何が起こったのでしょうか？
- 4月 11日 まだまだとても立派な角を2本つけています。
- 4月 30日 もう角は抜けているかな？と思うと、そこには、小さな尖った角。この小さな角、これからどうなるのでしょうか？
- 5月 23日 鋭角。角が抜け落ち、これから秋に向けて大きく成長していく途中の角です。

この記録は、私の写真の中の記録。もっと早く角を落とすもの、遅く落とすもの、個体によって様々でしょう。よく見られるからこそ、ぜひ観察してみてください。今年、ニホンジカの角が落ちるのはいつでしょうか？（谷脇）



4月 4日



4月 11日



4月 30日



5月 23日

自然公園へ出かけよう



休館日は直接お尋ねください

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬840-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30 (遺年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovo/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3688 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawake/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-8
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

2011

4月号

No.86

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

今年の今頃は？ 《秦野ビジターセンター》

あちらこちらから多くの開花情報が届くこの季節、「もうすっかり春」と油断していると、湿った雪がどっと降ることがあります。昨年4月17日の自然情報収集日は、まさにその雪が降った日の翌日でした。

ヤビツ峠から岳ノ台へ向かうと、思っていた以上の積雪です。深いところではズボッと脚がはまり、よるけてしまうことも。気合を入れて進んで行くと、すでに満開になったマメザクラにも雪が積もっています。なんだか重たそうにしているマメザクラには申し訳ありませんが、雪と桜を同時に見られるのもこの季節の丹沢の魅力ではないでしょうか。

地面に咲く花はさすがに雪に埋もれて見られませんが、雪の上に落ちたダンコウバイの花、シバヤナギなど木々の花が楽しめます。積雪がなければ、エイザンスミレなどのスミレ類やヒトリシズカなど、登山道脇を華やかにしてくれる様々な草花を楽しむことができます。

この日は登山道に設置している山の情報看板を更新しながら三ノ塔を目指しましたが、思うように進まず二ノ塔で時間切れでした。

雪の中を歩くもよし、ぼかぼか陽気の中を歩くもよし、ゆとりある計画で“丹沢ならではの春”を探しに出かけてみませんか？（村上）



- ① マメザクラのトンネル
- ② 雪をかぶったマメザクラ
- ③ 雪の上に落ちたダンコウバイの花
- ④ シバヤナギの花
- ⑤ 二ノ塔ガレ場の山看板

編集・発行：財団法人 神奈川県公園協会公園課 〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8 8階内ファーストビル6階

TEL：045-651-0931 FAX：045-651-0932

自然公園課：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

神奈川県公園協会

検索

後援：丹沢大山自然再生委員会

カモシカとの出会い 《丹沢湖ビジターセンター》

急な岩場や崖の上で

振り返ってはじっと佇む

時には崖から落ち また歩き出す

食べものが少ない厳しい冬を生き

春には新しい命を産み出す

人にはなかなか真似することはできませんが、

懸命に生きる姿を見習いたいものです。

崖を見上げて、カモシカを探してみませんか？

(榑谷)



- ①崩壊地や岩場で見かけることが多い
- ②じっと周りをうかがう
- ③崖から落ちたが、その崖を登っていった
- ④春先には衰弱し死んでしまうこともある
- ⑤春に出産し1年ほど母子で過ごすと言われる

箱根の桜 《箱根ビジターセンター》

箱根の桜は、山地性のヤマザクラとマメザクラ、海岸性のオオシマザクラに大きく分けます。

ヤマザクラは4月上旬から咲き始め、湯本から箱根にかけての旧道から、須雲川の対岸に見える湯坂山の斜面、あるいは塔之沢から宮の下間の国道1号線から、早川の対岸に見える塔ノ峰から明星ヶ岳にかけての外輪山の両側斜面、さらに宮城野の板里などが、その名所となっています。おススメの「箱根の夫婦桜」の見頃は例年4月の下旬、運がよければ地元の皆さんの温かい御振る舞いを受けられるかもしれません。

一方マメザクラは、富士・箱根地方がまさに名所というべきサクラで、山中の各地、特に芦之湯から二子山、大観山周辺では、アブラチャンの黄色と新緑そしてマメザクラのコントラストがとても綺麗です。

海岸性のオオシマザクラも、徐々に箱根山を登りつつあります。どうやら今では小涌谷辺りまで達しているようです。

箱根は、山地ですから、標高によって桜の満開の時期が違います。3月下旬から4月下旬まで1日に50mくらいずつ山を登っていきます。(参考文献：箱根叢書) (石原)



箱根の夫婦桜

春の出来事 《宮ヶ瀬ビジターセンター》

たくさん生きものが活発に動き出す春、繁殖期の鳥たちは、ペアを探して必死にアピールしたり、巣作りのための材料を一生懸命運んでいます。

鳥の種類によっても異なるアピールは、美しいさえずり、食べ物のプレゼント、チャームポイントとなる立派な模様を見せる等、様々な行動があるようです。また、その後には始まる巣作りも、コケや羽、土、木の枝、枯れ葉、草、クモの糸、動物の毛・・・など。器用に材料をくちばしにくわえ、その鳥独特の巣を作り上げていきます。

よく見ていると、鳥たちがいつもとは違う不思議な行動をしていたり(きつとメスへのアピール)、くちばしにくわえきれないほどの材料を持った鳥たちの様子が見られるかもしれません。

でも、すべてがうまくいくわけではありません。必死のアピールと巣作りを終えた鳥たちに悲しい出来事が。誰かに襲われたのか、地面の上の落ちていた巣。コケや鳥の羽などを大量に集めて出来上がったエナガの巣でした。そして、小さな卵が一つ、外に飛び出しポツンと転がっていました。

厳しい自然の中で生きている鳥たち。ぜひ、鳥たちが安心して暮らせる距離で、近づきすぎず自然の状態を観察してくださいね。(谷脇)



カワセミ
水受給餌
(オスがメスに食べ物をプレゼント)



ホオジロ
集材運び



エナガ
落ちていた巣

はな・花・華 《陣馬自然公園センター》

春の香りは、3月の初めに届きます。センターの周辺でタチツボスミレやオオイヌノフグリなどのかわいい花が姿を現します。そして、4月には、冬の間土の中で耐えていた草花や木々の芽も一斉に吹き出し、花が彩りを添え、私たちの目を楽しませてくれます。ぜひ、この彩り鮮やかなこの時期に陣馬山周辺を登山してみませんか？(山口)



アカネスミシ



コチャルメソウ



センボンヤリ



ウリカニデ



オオツクバネウツギ



ミツバツツジ